

第3章 計画の基本的な考え方

地域福祉を推進するにあたっては、私たちがどういった地域をつくろうとしているのか、明確な理念を持つ必要があります。この理念があってはじめて、市民が共に手を取りあい、同じ方向に向かって福祉のまちづくりに取り組むことができるのです。

地域福祉計画の基本理念は、計画全体を貫く基本となる考え方であり、これからの福祉のまちづくりの方向性を示すものです。また、基本目標は、地域福祉推進のキーワードとなるもので、具体的な施策の方向性を示すものです。

北見市地域福祉計画では、基本理念、基本目標を次のとおり定めます。

1. 計画の基本理念

ふれあって 支えあって 助けあって……
どんなときも みんなの笑顔が輝くまちをつくります

誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていくために、市民一人ひとりが「地域をより良くしたい」という意志を持ち、積極的に地域の課題解決に参加することが求められています。

互いに声をかけあい、出会い、交流し、ふれあうことで地域に豊かな人間関係が築かれ、寂しさや孤独を感じることなく生活することができます。

また、地域に助けあい、支えあいの輪が広がれば、いつまでもその人らしい充実した生活が、安全、安心のうえに成り立ちます。

誰もが個人の多様性を認め合い、誰もが心のふれあいを大切にし、誰もが相手の立場を理解し、誰もが優しい心を実践できたなら……

きっと、「どんなときもみんなの笑顔が輝くまち・北見」が実現します。

2. 計画の基本目標

計画の基本目標は、基本理念の実現を目指し、北見市が地域住民や社会福祉協議会、事業者と連携して地域福祉を推進していくために、施策展開の基本方向として設定するものです。



自助へつなげる土台づくり

自助とは「自らの努力でなすこと」と定義しています。自助へつなげていくためには、家庭や地域でその人らしい自立した生活が送れることが前提になります。そのため、誰もが健康で生きがいを持って暮らし、社会参加できるような取り組みを進めます。



互助へつなげる環境づくり

互助とは「お互い助けあうこと」と定義しています。互助へつなげていくためには、助けあい、支えあいの重要性・必要性について認識してもらうことが必要です。そのため、福祉意識の醸成やボランティア等の担い手を育成・支援する取り組みを進めます。



共助へつなげる地域づくり

共助とは「地域などで助けあうこと」と定義しています。共助へつなげていくためには、地域活動団体の活動の維持・活性化や各主体同士の連携も必要となります。そのため、地域活動団体への支援や活動場所の確保などの取り組みを進めます。



公助につなげる基盤づくり

公助とは「行政などが公的援助を提供すること」と定義しています。公助につなげるためには、公的援助が必要な方を適切な援助制度につなげていくことが必要です。そのため、相談窓口や支援体制の整備を進め、公的サービスの充実を図るとともに、現在設置している各分野の相談機関を中心に関係機関・関係各課の連携強化に努め、「断らない、つなぐ」相談支援に取り組んでいきます。

3. 計画の体系

